

デジタル庁情報システム調達改革検討会の設置について

令和4年6月21日

デジタル庁戦略・組織グループ 調達支援・改革担当

1. 趣旨

令和3年8月25日「デジタル庁における入札制限等の在り方に関する検討会・報告書」において、調達契約の形態や単位の柔軟化、多種多様なベンダーの参入機会の拡大等、調達全般に係る課題が指摘されている。

また、令和4年度「デジタル社会の実現に向けた重点計画」では、「情報システムに関する政府調達については、参入手続における公平性や迅速性の確保、アジャイル開発等の手法への対応、クラウドを活用したサービス開発などを念頭に、令和4年度（2022年度）に検討を行い、必要に応じ法制度を含め順次整備を進める」と記載されている。

このように多様なシステム開発ニーズに対応していくには、従来とは異なる調達プロセスや体制の見直しなど、より柔軟な調達のあり方を検討する必要がある。

よってデジタル庁では、専門家・有識者で構成する「情報システム調達改革検討会」を設置し、国内外の情報システム調達に係る制度・体制・手法等の先進的な事例を調査・整理しつつ、情報システム調達に必要な施策を議論頂き、その実現を目指していくこととする。

2. 検討事項

下記に関する解決方策や目指すべき姿等について整理・検討し、調達改革に関する報告を求める。

- (A) 調達する際のプロセス見直しと体制強化
 - ・アジャイル開発を含む調達・契約方法の在り方 等
- (B) 多種多様なベンダーの参加、適切なベンダーの選定
 - ・スタートアップ企業等の参入機会の拡大
 - ・デジタルマーケットプレイスの導入検討 等
- (C) プロセスの明確化・透明性の向上等
 - ・ベンダーロックインの排除と透明性・公平性の確保 等

3. スケジュール案 ※日程、テーマは想定で調査の進行等により変更有

第1回（令和4年6月21日）	議題、進め方の確認
第2回（令和4年8月1日）	各検討テーマについて議論*1
第3回（令和4年9月7日）	各検討テーマについて議論*1
第4回（令和4年10月3日）	各検討テーマについて議論*1
第5回（令和4年11月7日）	各検討テーマの議論のとりまとめ
第6回（令和4年12月20日）	残存課題への取組み方針整理
第7回（令和5年2月6日）	最終報告案 ※その後年度末にとりまとめ

*1 第2回～第4回は以下の各検討テーマについて議論

- A. 調達プロセスの見直しと体制強化に関する議論
- B. 多種多様なベンダーの参加、適切なベンダーの選定に関する議論
- C. プロセスの明確化・透明性の向上等に関する議論